

今すぐ役に立つ 「手描きパース」勉強会

■ 6月12日（火）、18時から21時まで、サイドビルにて手描きパース勉強会を行いました。会員外の方も4名、参加してくれて、計10名。残念ながら参加予定で、来られなかった方も3名ほど。講師に、泉香織さん（いずみ工房代表）を迎えました。7年ほど前にも勉強会を開催していただいています。

■ 栃木で育った泉さんはマンガ好きで、高校生の時に、お小遣いで通信パース講座を受けていたそうです。住宅・マンション・土木と多様なパースを描いて来られて、CAD・CGを経験され、公園の設計、パース、イラストも手がけていたそうです。CGと手描きと選択に迷った時期もあったそうですが、現在は手描き一本でと決断されたそうです。印象的だったのは、蟹江さんぽ道案内図で、まちの良い雰囲気がよく伝わってくる地図でした。



■ パースのポイントは「消失点と目の高さ」ということで、実際にグリッドを下敷きにトレペへ、屋内パースを描きながら進みました。家具や建具の描き方（高さの決め方）や、そもそもグリッドはどう描くのかなど質問が、講義の最中からどんどん出て、活気のある勉強会でした。

途中休憩にて、甫立さんが差し入れしてくれた和菓子にてモグモグタイムもありました。

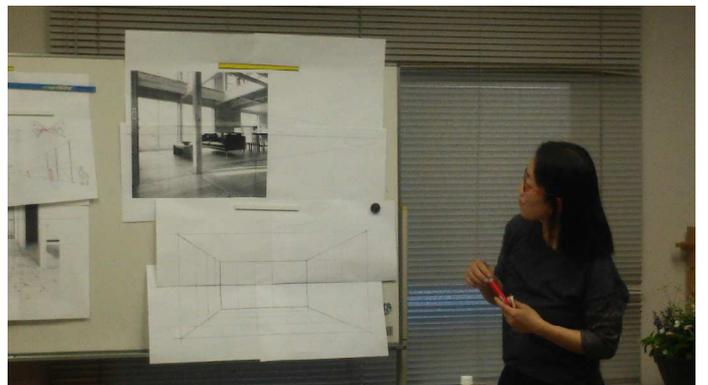
後半は、平面・立面への影のつけ方や、リノベーションした歴史の趣ある店舗（住生活環境研究所）の実際のパースの作業工程を解説していただきました。大きなボリュームのつかみ方から、だんだんと詳細なパースへと進んでいく工程を、細かく丁寧に説明していただき、とても分かりやすかったです。

納期の話では、自分で描いたものを一晩寝かせて、客観的に再度見直して修正をかけるための時間をもらうことや、描き直しのきかない大変さ（これはCGも同じようです）など、お話していただきました。

終盤には、参加者同士の自己紹介や名刺交換、歓談も生まれ、楽しい勉強会となりました。

講師の泉さま、準備から解説まで、多くの時間をさいっていただき、本当にありがとうございました。

■ 今回は、会員の中からの要望で行った企画です。来られなかった方や、その他の方から参加したいとの要望もあり、再度開催となるかもしれません。皆様、その際は、ぜひご参加ください！
(黒野)



今すぐ役に立つ「手描きパース勉強会」感想・アンケート

- 楽しく学ぶことができ良かったです。実際にパースを書かれている方の手順をみることができ、参考になりました。(服部)
- 手描きパースに以前から興味があったので、参加させていただきました。パースの基本的な所を徐々に学べてとても参考になりました。実務に生かしていきたいと思います。(大谷)
- これまで感覚的に描いていたものが、ある程度ルールとして学ぶことふができて、勉強になりました。頭を使って考えて、自分の手で描く事はとても大事だと思います。(立松)
- コツが少し解った気がします。勉強して行こうと思いました。またお願いします。(米本)
- 仕事に役立つことが有れば良いと思い参加しました。サッと手描きパースが描けるようになればと思い参加しました。本日は、有難うございました。(入谷)
- 当然のことですが、水彩スケッチとパース図の大きな違いを実感しました。7年前に教えていただいたのですが、忘れていることが多くて勉強になりました。(河合)
- 今まで打ち合わせの中で、適当に書いていたパースの基本をもう一度見直して、自分で書いて成長したいと思います。又、連絡をして勉強会をしてもらいたいです。(甫立)
- 苦手なパースの基本を学べて良かったです。実務も兼ねての勉強会をできたらと思います。(嶋田)

※アンケートでは、「またお願いします。」という声もありましたし、取り組んでほしい企画では、見学会（街並み・城下町）、講座（木造・構造）がありました。

